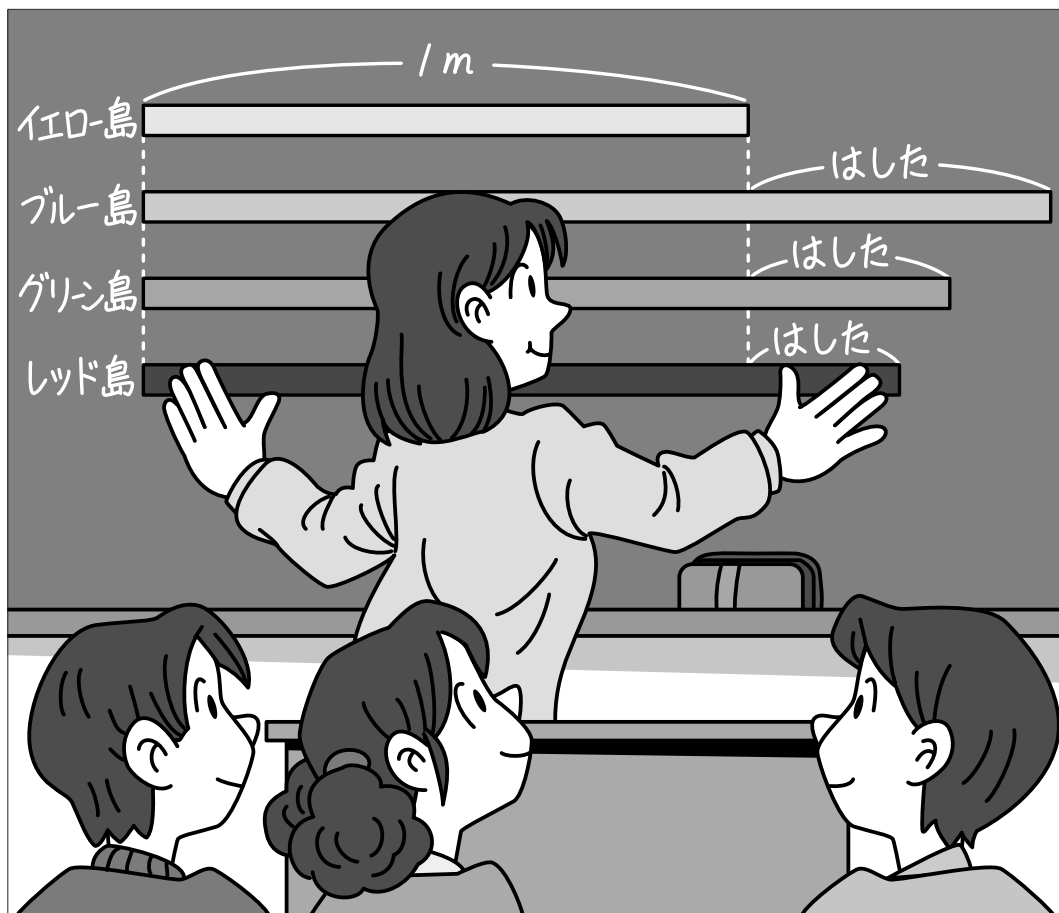


# 早く大きくな〜れ！ サトウキビ



### 本時のねらい

1mを単位にして測ったはしたの長さの表し方を考えることによって、分数についての課題をつかみ、その言い表し方「1mの何分の1」について理解する。

### 準備物

教師：提示用のテープ...黄(1m), 青( $1\frac{1}{2}m$ ), 緑( $1\frac{1}{3}m$ ), 赤( $1\frac{1}{4}m$ )を各1本

児童用のテープ...黄(1m), 青( $\frac{1}{2}m$ ), 緑( $\frac{1}{3}m$ ), 赤( $\frac{1}{4}m$ ), オレンジ( $\frac{1}{5}m$ )  
をそれぞれ児童数分

### 単元導入時のポイント

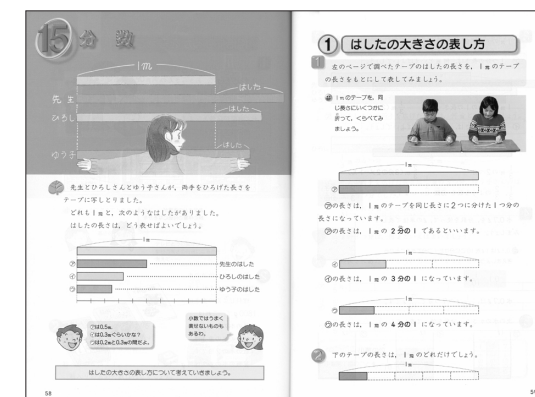
分数については、第4学年で初めて学習する。これまでに児童は、長さの測定に関して、「20cmと4mm」や「1mと30cm」などと表すことを学習してきている。また、「30cm」を「0.3m」、「50cm」を「0.5m」と小数で表すことも学習している。さらに、日常生活の中では、「ある長さの半分」や「4つに分けた1つ」など、分数に関わる表現を自然としてきている。

ここでは、日常生活であまり使われていない分数に関わる物語を取り入れたり、操作的な活動を取り入れたりしながら、はしたの大きさの表し方について考えていくという課題をつかませ、その表し方として「何分の1」を理解させていく。ここでは、1mのテープをもとに作業的な算数的活動をさせ、「半分」など、児童が日常使っている言葉と関連させながら、数量化して表すことよさに気づかせていくことが大切である。そのため、次の2点がポイントとなる。

- ・ 分数に関わるおもしろい物語を取りあげ、児童の知的好奇心を喚起させる。
- ・ 一人一人の児童が実際にテープを折ったり合わせたりすることを通して、分数が使われる場面や分数のしくみに興味をもち、進んで調べたり、表したりしていこうとする意欲がもてるようにする。

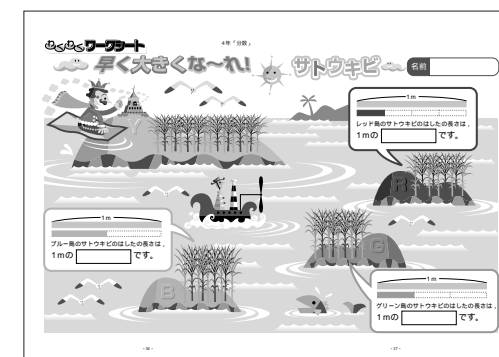
### 教科書活用の工夫

教科書p. 59の㉗・㉘・㉙の図は、1mをもとに、それぞれのはしたの長さを示している。このことにより、「1mの何分の1」という表し方について、スムーズに理解できると思われる。

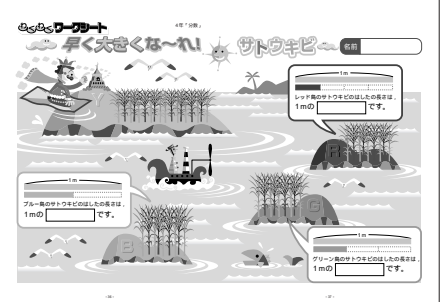
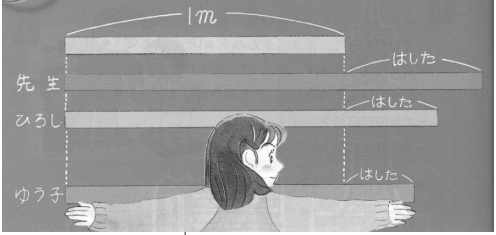



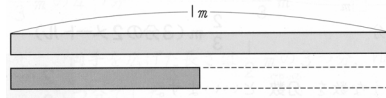
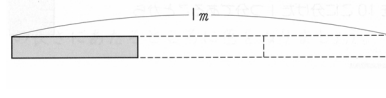
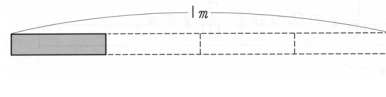
### ワークシートの特長

物語が理解できるように、3つの島の様子を図示している。この絵を見ながら問題場面を把握し、実際にテープを使った算数的活動につなげる。



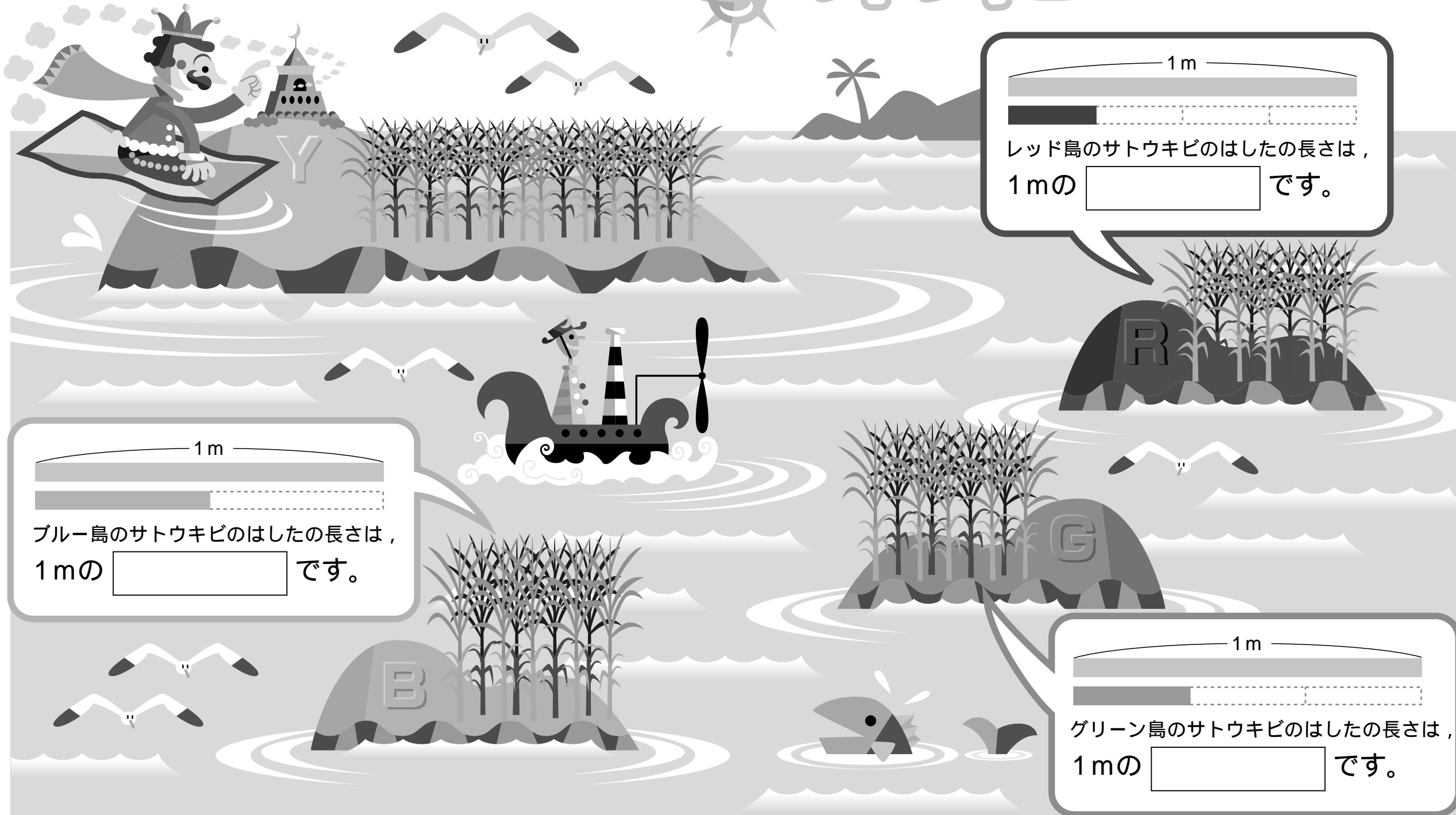
導入時の展開例

| 学習内容   | 児童の活動   | 指導上の留意点   |
|--|---|---|
| <p>・問題場面の把握<br/>ワークシート</p>   | <p>・教師が話す「早く大きくな～れ！サトウキビ」の物語を聴く。</p>  |   |
| <p>物語「早く大きくな～れ！ サトウキビ」</p> <p>あるところにサトウキビ王国がありました。サトウキビ王国は、本島(イエロー島)と3つの島(ブルー島, グリーン島, レッド島)からなっています。</p> <p>この国の王様は、本島のサトウキビの高さが1mになったときに、他の島のサトウキビの高さを調べるよう家来に命令しました。3つの島は本島より南にあるので、本島のサトウキビより早く大きくなります。</p> <p>家来は早速、島の名前と同じ色の1mの紙テープをそれぞれの島に送り、サトウキビが1mよりどれだけ高くなっているかを調べ、紙テープをはしたの長さに切って、送り返してもらうようにしました。</p> |   |   |
|  | <p>・1mをこえるはしたの長さの表し方を考える場面であることをつかむ。</p>  | <p>・教科書p. 58のさし絵のように、提示用のテープ(黄・青・緑・赤)を黒板に貼る。</p>  |
|    |  |   |
|  | <p>・はしたの長さを予想する。<br/>50cm, 30cm, 20cmくらい<br/>0.5m, 0.3m, 0.3mと0.2mの間くらい</p>         | <p>・半端の分を「はした」ということを知らせる。</p> <p>・3つの島の、それぞれのサトウキビのはしたの長さを予想させ、m単位で表せないかを考えさせる。</p> <p>・小数ではうまく表せない長さがあることに気づかせる。</p> |
|  <p>小数では表しにくいものがあるね。他に言い方があのかな？</p>   |   |   |
| <p>・課題をつかむ</p>   | <p>はしたの大きさの表し方について考えていきましょう。</p>  |   |
|  | <p>・小数ではうまく表せない「はした」</p>  | <p>・日常生活の中で半端な量を表</p>   |

|                      |  |  |
|----------------------|--|--|
| <p>・「2分の1」の理解</p>    | <p>の長さをどう表せばよいかを考える。<br/>半分, 真ん中<br/>半分よりちょっと短い</p> <p>・1mのテープを折って、ブルー島のはしたの長さを作り、1mのテープを同じ長さに2つに分けた1つ分の長さは、1mの「2分の1」であることを知る。</p>  | <p>す言葉がないかを考えさせる。</p> <p>・児童用のテープ(黄・青)を児童に配布し、黄色のテープを青色のテープと同じ長さにするにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>・テープを折る作業を通して、「同じ長さに2つに分けた」という言葉の意味を明確にさせる。</p> |
| <p>・「3分の1」の理解</p>    | <p>・1mのテープを折って、グリーン島のはしたの長さを作り、1mのテープを同じ長さに3つに分けた1つ分の長さは、1mの「3分の1」であることを知る。</p>   | <p>・「2分の1」の長さのとらえさせ方から類推させ、グリーン島のはしたの長さが1mをいくつに分けた1つ分になっているかを考えさせる。</p> <p>・3等分の作業は難しいので、教師がやってみせるだけでもよい。</p>                              |
| <p>・「4分の1」の理解</p>    | <p>・1mのテープを折って、レッド島のはしたの長さを作り、1mのテープを同じ長さに4つに分けた1つ分の長さは、1mの「4分の1」であることを知る。</p>    | <p>・テープを折る作業を通して、1mのテープを4つに分けた1つ分であることに気づかせる。</p>  |
| <p>・「何分の1」の理解の深化</p> | <p>・1mのテープを折って、オレンジ色のテープの長さを作り、その作り方から、「1mの5分の1」について理解する。</p>  | <p>・児童用のテープ(オレンジ)を配布する。</p>  |
| <p>・まとめ</p>          | <p>・「何分の1」を使うことによって、はしたの長さを表すことができる。</p>   | <p>・本時の学習をふり返り、わかったことをまとめさせる。</p>  |

# 早く大きくな〜れ! サトウキビ

名前



1m

レッド島のサトウキビのはしたの長さは、  
1mの  です。

1m

ブルー島のサトウキビのはしたの長さは、  
1mの  です。

1m

グリーン島のサトウキビのはしたの長さは、  
1mの  です。